

天気の内容に関するアンケート最終集計

天気の内容については1964年に本誌11巻8号綴込の用紙によりアンケートを実施した。その後多くの会員から折りにふれて建設的な意見が寄せられたこともあったが、前回のアンケート回答数が少数であったこと、また前回のアンケートからすでに3年以上経過したこと等を考えて、本誌の増頁が認められた機会に改めてアンケートを実施することにし、会員の実態を把握する目的で行なった会員カードの調査と並行して、本誌14巻10号に用紙を綴込んだ。その結果本年2月頃までに、会員から220通の回答が寄せられた。この回答数は会員総数の約1割で、前回のアンケートに対する回答数と比較すると6倍以上である。しかし回答を寄せられた会員が必ずしも学会の全会員層を代表するとはいえないので、3月にこれとは別に会員カードの集計結果にもとづき、会員の年齢一職種構成を考慮して、200通のサンプリングを行ない再度アンケートを実施した。その結果得られた回答数は115通であった（内訳下記の通り）。

このようにして得られたアンケートの最終集計結果は下記のとおりである。すでに、アンケートの中間報告は本誌15巻2号60頁に掲載したとおりで、その結果にもとづいて、短報欄・通信欄を新設実施したが、その他の事項についても、今後の編集の参考としたいと考えている。アンケートに御協力いただいた会員各位に深謝の意を表する。

（回答の内訳）

直接回答：220

抽出調査回答：115（200枚のうち回収数）

（内訳）		抽出調査回答	
気象官署職員	131	61（うちB会員	26）
大学	43	23（	18）
研究所	24	20（	14）
その他	9	8（	3）
所属不明	13	3（	3）

（注） A会員：天気だけの購読会員， B会員：天気・気象集誌を購読する会員

アンケート集計数字：左側—直接回答， 右側—抽出調査回答， 括弧内B会員

（天気編集委員会）

1. 論文関係

1-1. 論文の長さ：なるべく多くの投稿論文を速かに掲載するため、原則として印刷6頁以下に制限する（現行は8頁以下）。

差支ない	143,	88 (43)	意見なし	29,	12 (7)
反対	45,	12 (9)	回答なし	3,	3 (1)

1-2. 短報の新設：速報性をとくに重視した印刷1頁以下の短報欄を論文とは別に設ける。内容は小論文のほか、他雑誌（集誌を含む）に投稿した論文の要約、未完成ではあるが、とくに速報を要する研究成果の概要等について投稿があれば掲載する。

賛成	181,	106 (56)	意見なし	17,	2 (1)
不要	17,	7 (3)	回答なし	5	

2. 解説関係

2-1. 解説の難易：最近の天気に掲載された下見の解説のうち、天気に掲載する解説としてはむずかしすぎる。あるいはやさしすぎるとお考えのものがあつたら記入して下さい。またとくに興味深くお読みになつたものがあればご記入下さい。

	難	易	興味深		難	易	興味深
レーダー解析	8(2)	19(10)	46(25)	Visible Meteorology	3(2)	15(9)	50(23)
中国気象界の現状	1(0)	21(11)	45(16)	蒸発散の問題	25(9)	5(3)	38(20)
熱帯気象学の展望	6(2)	10(3)	62(34)	現代の自然変化	1(0)	17(9)	33(15)
第6回国際凝結核会議	13(4)	13(5)	31(16)	雷—その雷荷発生機構	12(5)	9(6)	44(25)

2-2. 今後掲載を希望する解説:

天気に今後掲載を次の中から3篇選んでレ印を記入して下さい。なお最近掲載した分野では省いたものがあります。

(注) 天気に掲載する解説は短くて(印刷10頁以内)、専門外の会員に容易に理解できるよう平易に記述されることを原則とします(したがって気象研究ノートとは重複したしません)。

気象学一般	51	26(12)	古気候学	7	2(2)
季節風	22	16(5)	化学気象学	14	2(2)
数値予報	45	19(12)	雲物理学	38	22(17)
総観気象学	35	14(7)	大気汚染気象	20	11(10)
微気象学	24	16(10)	気象測器	32	14(8)
大気大循環	50	26(15)	気象衛星	34	21(12)
海陸風・山谷風	21	10(4)	産業気象	13	4(1)
天気予報学	39	24(9)	農業気象	13	8(3)
メソ気象学	47	20(14)	気象病	7	1(0)
台風	27	20(10)	気象・気候資料	18	5(3)
中規模擾乱	12	18(11)	大気乱流論入門	33	12(7)
集中豪雨	34	22(9)	気象光学入門	13	2(2)
豪雪	16	9(4)	電波気象学入門	17	4(3)
梅雨	12	7(4)	大気電気学入門	11	4(1)
気候学	17	4(1)	宇宙気象学入門	31	9(4)
気候変動	21	8(4)	生気候学入門	10	3(1)

3. その他

3-1. 小型天気図の添付: 日々の日本付近の地上天気図を新聞天気図ぐらいの大きさに縮小し、1箇月分を天気1~2頁大の紙面にとりまとめ裏面にその月の天候、大気大循環の特徴を簡単に解説した記事をつける(掲載は数箇月おくれる)。

希望する	111	74(43)	意見なし	24	9(4)
不要	81	40(27)	回答なし	4	2(0)

3-2. 通信欄の新設: これまでも、会員の学会に対する要望・意見、論文に対する質疑・意見等は随時自由に投稿できるようになっていますが、あまり振るいません。そこで1頁程度の通信欄を設けて大いに勧奨しようと思います。

賛成	155	74(43)	意見なし	34	18(8)
不要	11	12(7)	回答なし	9	5(0)
わからない	11	7(2)			

3-3. 次の事項について御意見をお寄せ下さい。

(1) 表紙について

現状でよい	37	(20)	回答なし	69
変えた方がよい	9	(6)	(提案): 写真を入れる, デザイン	

4. (A 会員に対して) 集誌を購読せぬ理由 (抽出調査だけ)

英語を読みにくい	20	業務に役立たない	5
官署に備え付けがある.	10	自分の研究に関係ある論文が少ない	5
論文の程度が高い	7	経済的理由	3

5. その天気の編集に関して要望があればお書き下さい.

かなり多くの回答があった. 内容を整理して列挙すると次のようになる.

- **天気の編集・発行等の全般的な事項**: 内容が片寄らぬよう注意. 増頁の要望. 発行が遅れないよう注意 (大会, 月例会等の告示との関連). 新しい会員の獲得 (20年後に会員の激減が予想される) と養成 (大学院だけでなく広く一般会員を) を心掛けた編集を. 編集に個性を出すこと. 内容をもうすこし平易に. 社会への利用を考えた応用気象の分野を拡充すること. 内容が半専門的で中途半端である. 理論的なものばかりでなく, もっと新しい観測事実を紹介するように心掛けること. 入門講座や基礎的な考え方や実験方法等の解説. 気象業務に役立つ記事の掲載. 論文欄の拡充. 写真をもっと多く掲載して欲しい. 執筆者の数を多くすること.
- **解説関係**: 気象業務の現場と直結した解説. 外国の気象事業の紹介. 外国のすぐれた研究の紹介. 数多く発表される論文の気象業務への利用に関する解説. 解説・展望は図書月報・測候時報等の在り方と関連づけて再検討. シンポジウムをもっと詳しく, 気象用語の解説英文講座の新設.
- **論文関係**: 粗末の論文を reject せよ. 論文の程度・掲載基準を明示せよ. review 的論文をもっと多く掲載せよ. 図表類が不必要に大きいものがあるから注意せよ. 参考文献のスペースが必要以上に大きい. 掲載論文数を増すこと. 英文のアブストラクトは付けよ.
- **学会関係記事**: 支部主催理事会, 月例会, シンポジウム等の要旨を掲載せよ. 学会だよりは活字のポイントを落したらよい. 会則をときどき掲載せよ. ときどき会費の納入の注意を喚起せよ.
- **その他**: 気象関係の新刊書の紹介, 書評の拡充 (邦書, 外国書とも). 研究の参考となる広告 (測器等). 集誌掲載論文の要旨を和文で天気に掲載. 文献の所在, 利用 (借出) 方法等の案内. 異常気象の速報, 紹介等. 天気のこれまでの総目次を作成して欲しい.

気 象 集 誌

第 II 輯 第 46 卷 第 2 号 1968 年 4 月

武 田 喬 男: 自然氷晶核活性化のおくれが雲内の氷晶数に及ぼす影響.....	69— 76
I. スバ ラ マ ヤ: モンスーンによる印度各地の雨量の相互関係.....	77— 85
柳 井 迪 雄: カリブ海域における熱帯擾乱の発達.....	86—109
桜 井 兼 市: 過冷却霧の中の氷晶の観測.....	110—119
大 喜 多 敏一: 霧, 雲, エアロゾル中に含まれている硫酸塩やその他の無機塩の濃度.....	120—127
菊 地 勝 弘: 砲弾型雪の結晶について.....	128—132
S.M. セレブレニ・R.H. ブラックメア, Jr.: レーダで探知された 降水域と衛星による雲域の関係.....	133—149

要 報 と 質 疑

桜 井 兼 市: レプリカ溶液中で成長した長い角柱結晶.....	150—151
高 橋 浩一郎: 太陽活動の変動と降水量との関係のキイ・ディ解析についての補遺.....	152